

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	歴史研究を行う専門科目への導入として、日本史のおおまかな流れを押さえ、歴史研究の基礎的方法を学ぶ。	2年次から3年次には、各自が学びたい時代・分野に関する専門的知識を習得する。特に日本史史料講読I~Vは、実証的に研究するための重要な科目となっている。	3・4年次の日本史学演習I・IIでは、史料の読解力を身につけるとともに、各自の研究テーマに合わせて、卒業論文を執筆するための調査・研究方法を学ぶ。学びの集大成として、卒業論文の作成に取り組む。	
必修	<ul style="list-style-type: none"> 日本史学基礎演習 ① 日本史学史I・II 		<ul style="list-style-type: none"> 日本史学演習I 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史学演習II 卒業論文
選択必修	<ul style="list-style-type: none"> 東洋史概説 西洋史概説 日本考古学概説 外国考古学概説 史学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史史料講読I~V ② (この中から1科目を選択します。) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本古代史 日本中世史 日本近世史 日本近代史 	<ul style="list-style-type: none"> この中から2科目を選択します。 この中から1科目を選択します。
選択	<ul style="list-style-type: none"> 記録史科学I(古代・中世) 記録史科学II(近世) 記録史科学III(近代) 記録史科学IV(近現代) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本古代史特講I~II(A/B) 日本中世史特講I~II(A/B) 日本近代史特講I~II(A/B) 日本現代史特講I(A/B) 外国史特講I~VII(A/B)(アジア) 外国史特講IX~XIV(A/B)(ヨーロッパ・アメリカ) 外国史特講XV(A/B)(歴史一般) 	<ul style="list-style-type: none"> 外国史特講XVIA(歴史一般) 外国史学文献史料講読I~XVII 考古学各説I~IV(A/B) 考古学特講I~X(A/B) 考古学史 日本仏教史 ⑤ 日本文化史 西洋文化史I・II 	<ul style="list-style-type: none"> 有職故実 ⑥ 日本民俗学 歴史地理学A/B 人文地理学概説 地誌学 ⑦ 哲学史 ⑧ 仏教美術史 西域美術史
	<ul style="list-style-type: none"> 日本史概説 	<ul style="list-style-type: none"> ④ 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 	<ul style="list-style-type: none"> 美術史概説 ⑨ フアン語 ギリシャ語 社会経済史I・II 仏教史I・II 政治思想史I・II

① 日本史学基礎演習

日本史学の研究手法の基礎を身につけることを目指します。導入として、歴史学・歴史研究についての講義を、その後、学生の個人研究と発表を行い、実践的に学びます。

④ 日本古代史特講I・II~日本近現代史特講I

古代から近現代までの政治や経済だけでなく、交通や宗教、技術やメディアの歴史など、幅広いテーマの講義から選択できます。興味のある分野について、専門的に深く学びます。

⑦ 地誌学

地誌学とは、あらゆる要素を加味してその地域性を読み解く学問です。ここでは、日本の地誌を基本レベルまでさかのぼって学習。各地方の特徴を理解していきます。

② 日本史史料講読I~V

古代から近代にかけての史料の中から、各時代に関する様々な文書や記録を取り上げ、講読していきます。書かれている内容だけでなく、歴史的背景についても学んでいきます。

⑤ 日本仏教史

インドで生まれた仏教はどのように日本に伝わり、そして広まったのでしょうか。インド、中国、朝鮮半島との関わりや、日本の一般民衆の抱える苦悩など、多角的に考察していきます。

⑧ 哲学史

古代ギリシャから、アリストテレス、カントなど、西洋の哲学者の思考を解説します。物事の本質を突き詰めた彼らの考えを学び、論理的な思考力と、革新的な発想力を養います。

③ 古文書研究I・II

歴史研究に欠かせないのが、史料から事実を読み解く力です。この講義では中世・近世文書を中心に内容を理解するとともに、花押や料紙、筆跡といった観点についても解説します。

⑥ 有職故実

有職故実とは、古来の伝統に基づいた朝廷や公家、武家の法令や儀礼、慣習のことをいいます。画像や映像を多く用いながらこれらについて学び、中古・中世の生活への理解を深めます。

⑨ 美術史概説

古代からルネサンスにかけての西洋美術の歴史をたどります。描かれる物や形、出来事から、作品と人々、社会との関係を読み解くその手法は、歴史を学ぶ上での基礎力となります。



安藤 暖さん
 歴史学科 日本史学専攻 3年
 屋久島おおぞら高等学校 出身

Message

繰り返される歴史から学び、未来に活かしたい

大学受験を通して日本史を勉強するうえで、「なぜ同じことが繰り返されるのだろうか?」と疑問に思うことがあり、もっと歴史を深く学んでみたいと思い、歴史学科日本史学専攻を志望しました。戦後史の授業の中で戦争孤児について学んでいますが、この問題は過去のことだけではなく現在もある問題です。どうすればよかったのか?を歴史から学ぶことで、これからの国際社会においてどのような支援や解決策を

提供できるのかを考え、未来に活かすことができます。私はもともと一つのこと集中するタイプなのですが、くずし字などの今まで知らなかった史料に触れ、文献をたくさん読むうちに、活字を読むことに夢中になってしまい、今は様々な小説を読んでいます。将来は漠然としていますが、多くの人たちと協力して作り上げるような、本に関わる仕事したいと思っています。

1 Week Schedule

[2年次] 後期

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1						
2					日本史概説	
3	英語IIAb	法学の基礎		心と体を考える		
4	日本近代史	日本中世史特講II B	美術史概説	日本中世史		
5		記録史科学IV(近現代)	民族と文化(2)	英語II Bb		
6						